

高齢者福祉論

～認知症のある人への関わり方～

東北文教大学 橋本 美香

みなさんならどうしますか？

早朝、犬の散歩をしていたら、見知らぬ高齢の女性が、こちらに向かって歩いてきました。

「おはようございます」と声をかけました。

散歩コースを回って自宅のそばまできたら、またその女性と会いました。きょろきょろと周りを見回しながら不安そうです。



1. 高年齢ほど高い出現率の認知症

- 日本の高齢化率 **28.4%** (2019年)

用語の定義：高齢化率 7% 高齢化社会

高齢化率14% 高齢社会

高齢化率21% 超高齢社会

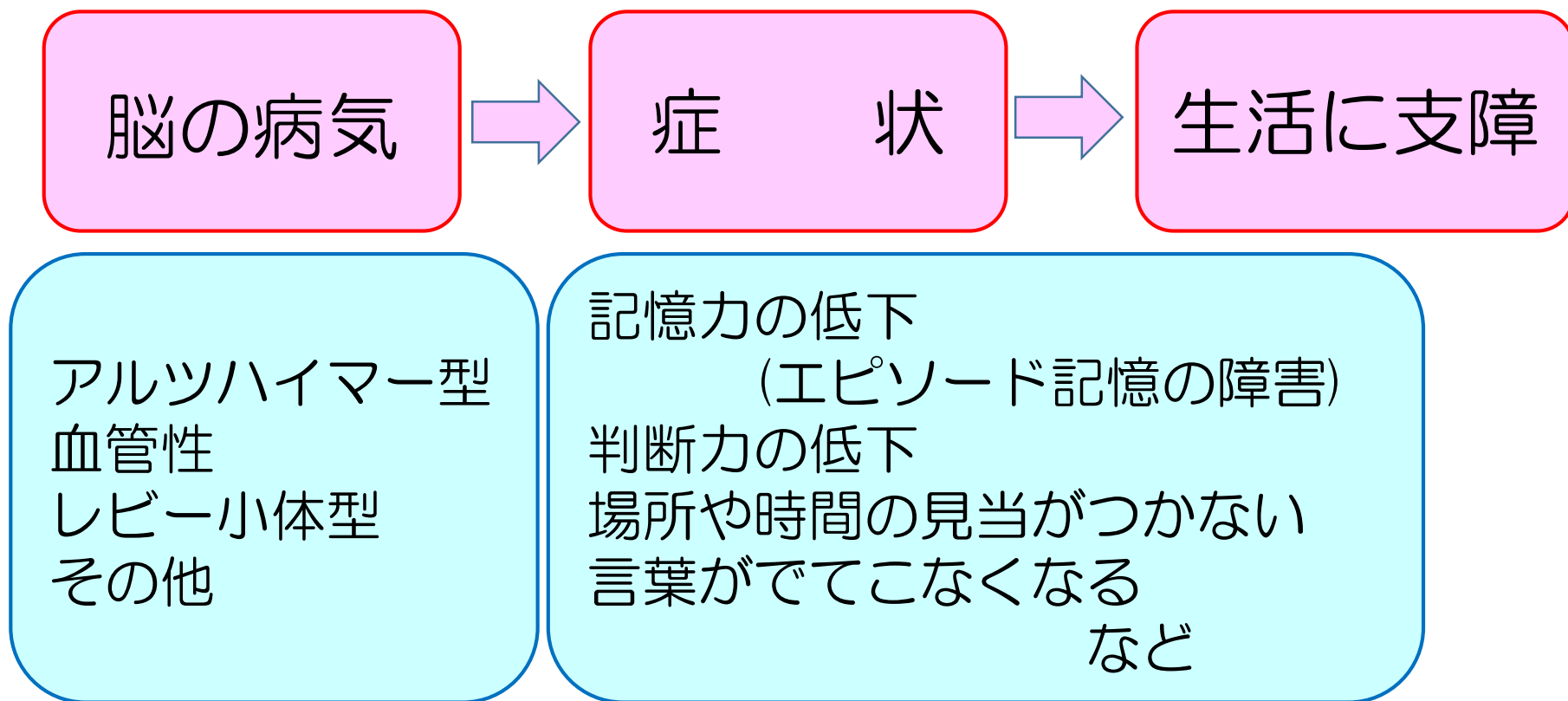
- 認知症のある高齢者の将来推計

2012年 462万人 (65歳以上人口対比約15%)

2025年 **700万人** (65歳以上人口対比約20%)

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業九州大学二宮教授)による速報値

2. 認知症とはどんな病気？



成人後、脳の病気によって認知機能が低下し、
生活の支障が生じた状態

3. いつかは誰もが認知症

β Aという異常なたんぱく質が神経細胞に蓄積

老人斑というシミになる

(無症状) 10年

タウたんぱくの蓄積から神経細胞の機能低下

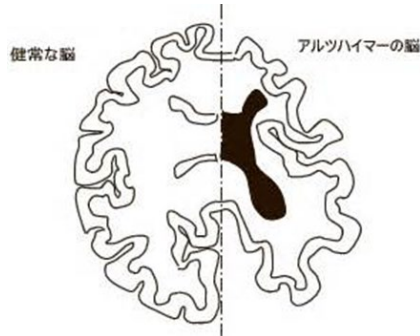
(物忘れ) 15年

神経ネットワークの崩壊

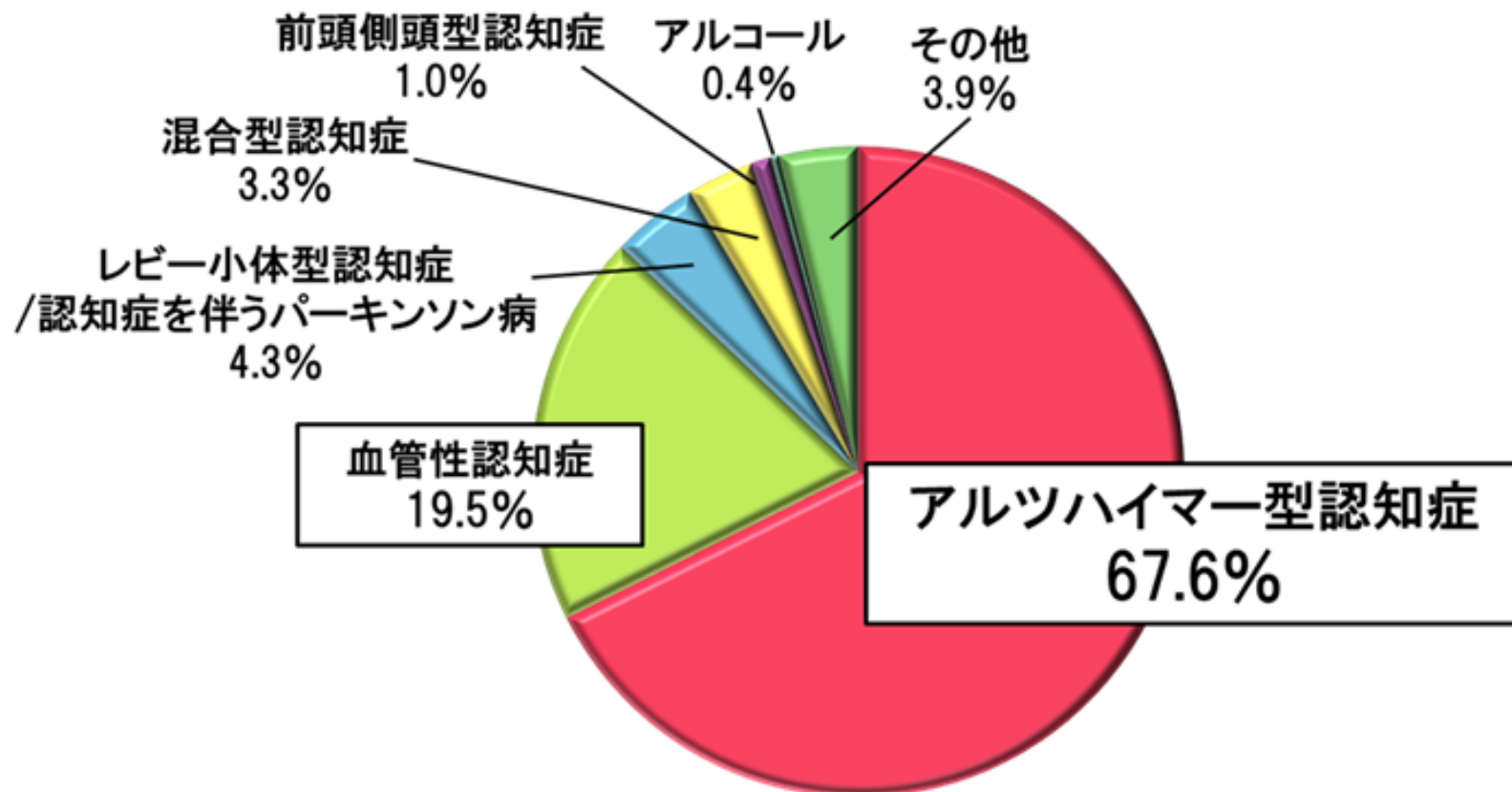
(軽度認知障害)

認知機能低下

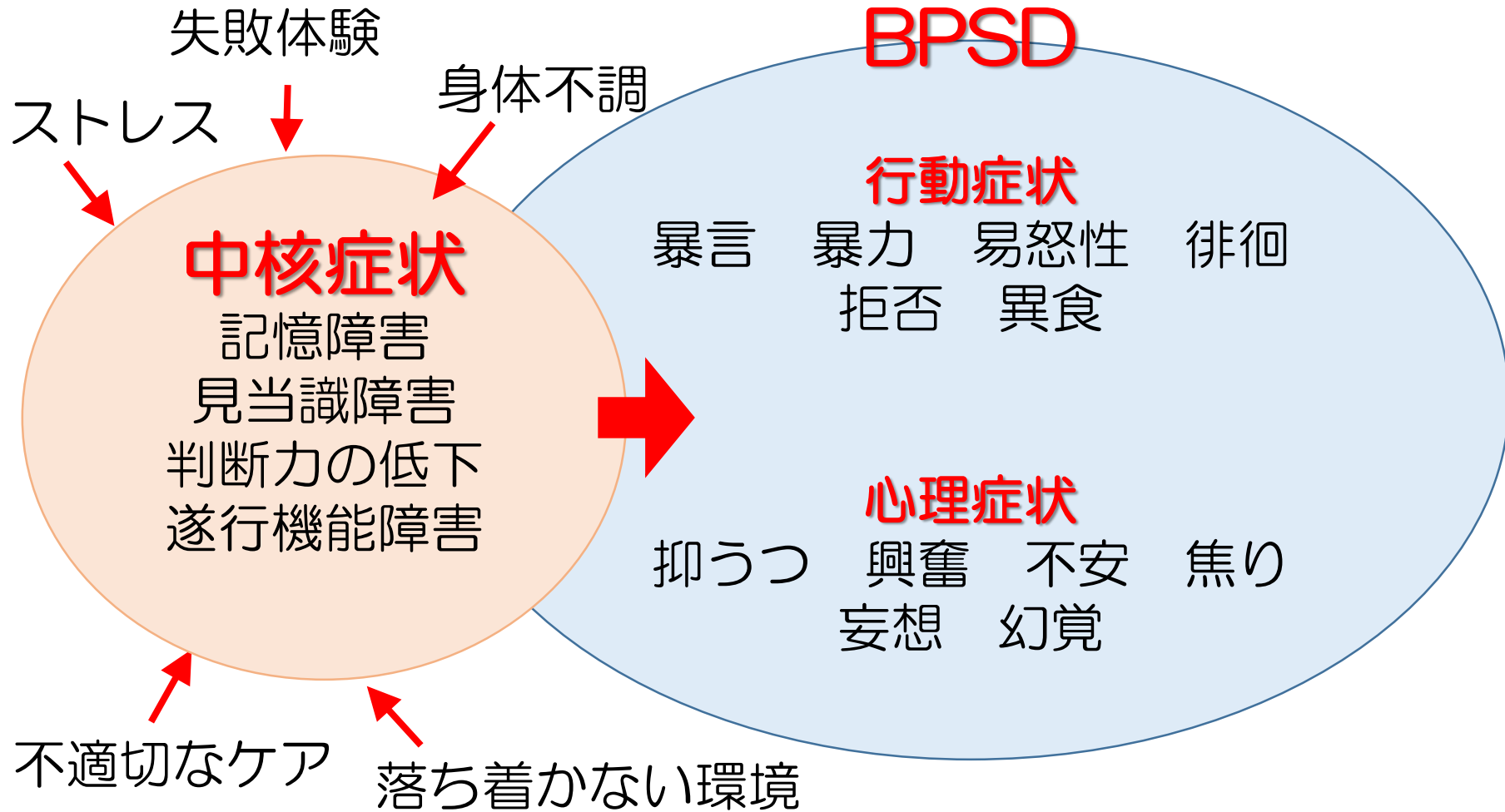
(アルツハイマー型認知症発症) 20年



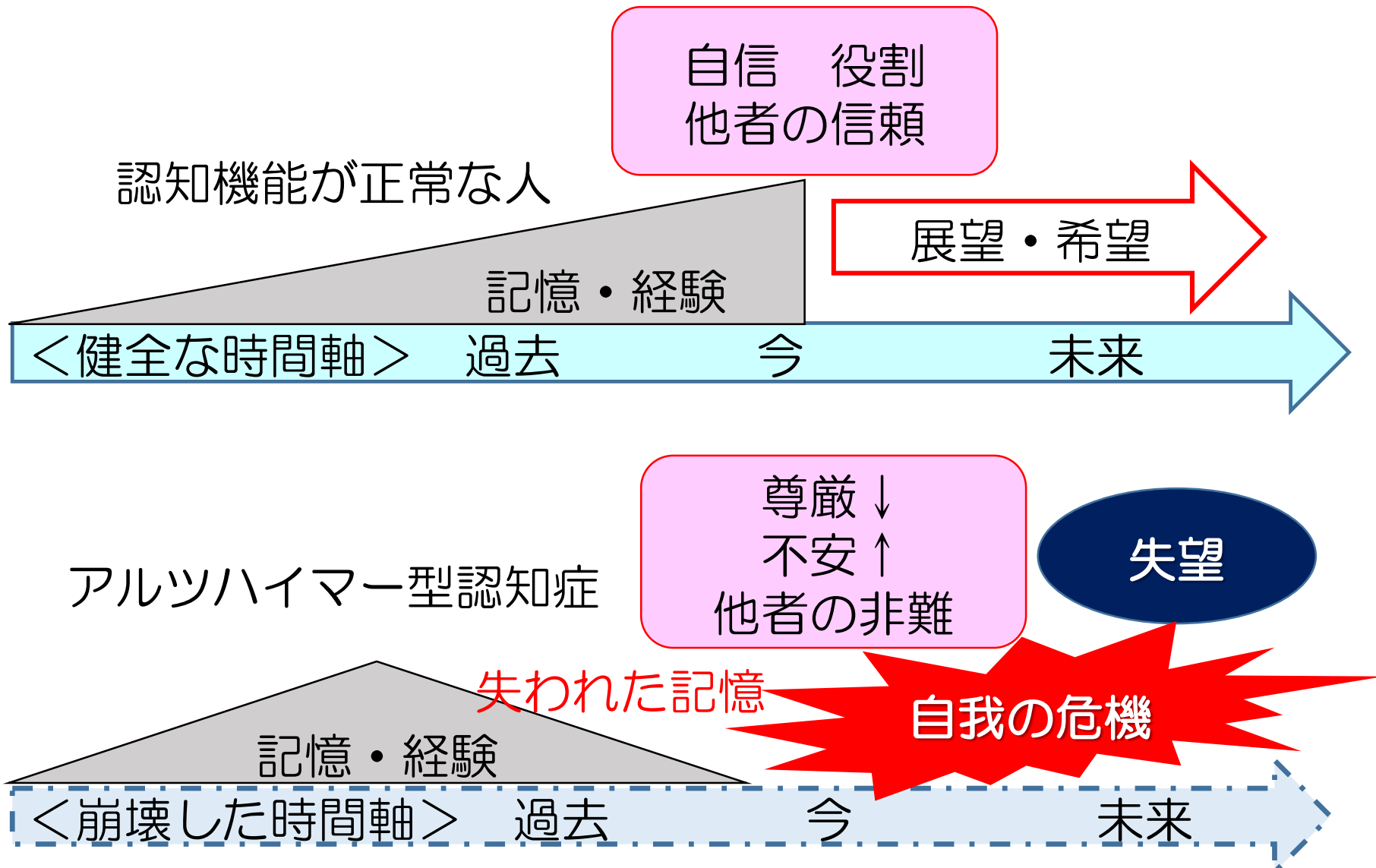
4. 認知症の基礎疾患の内訳



5. 中核症状とBPSD(行動・心理症状)



6. 認知症の人の不安



6. 認知症の人の気持ちに影響する要因

体調や薬の影響	便秘、不眠、脱水、薬の副作用など
環境の影響	壁とトイレの扉が同色でトイレがみつけにくい、テレビとBGMが両方でうるさい、まぶしいなど
天気の影響	昼間なのに雨で薄暗く夕方に感じる、気圧の変化で頭が痛いなど
介護の影響	できることまで手伝われて、どこまでしたのか、できたかどうかわからなくなる
生活歴の影響	慣れていない方法で実施されてとまどう、子どものように頭をなでられ情けなく感じる

7. 認知症の人の「人」を中心に

医学モデル「認知症は病気なので治療により解決」✗



パーソンセンタード・ケア (T.キッドウッド)

- ① 脳の障害
- ② 健康状態
- ③ 性格
- ④ 生活歴
- ⑤ 社会心理

五つの要因が関連
あきらめ・仕方ない
「人」「生活」を支える ○

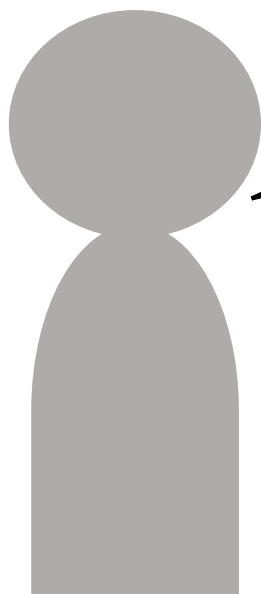
「認知症」の人 ⇒ 認知症の「人」へのケア

8. 認知症の人の事例から考える

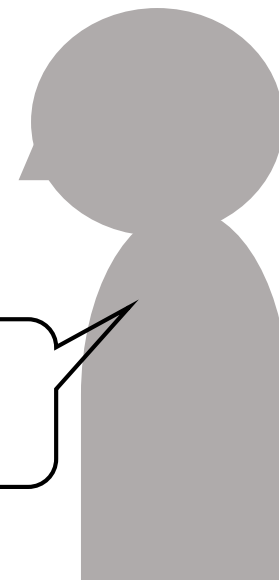
Aさん 80歳 女性

アルツハイマー型認知症

施設入所中



家に帰りたい



午後から家族が来ますよ

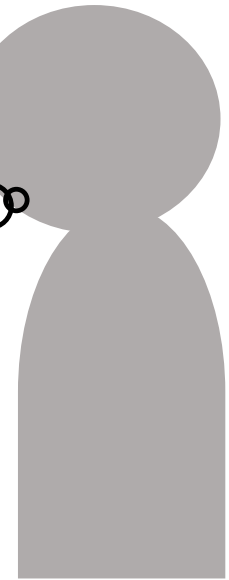
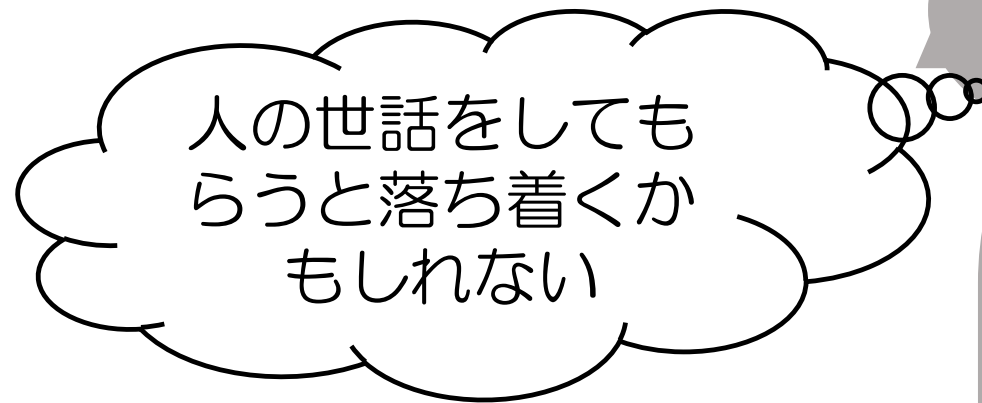
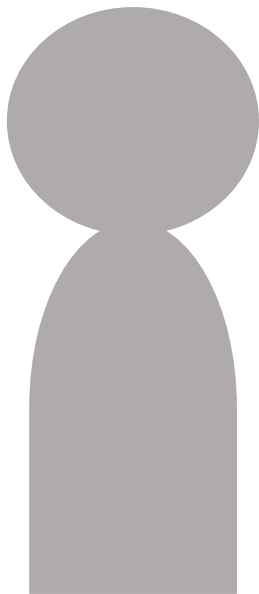
嘘を言って無理矢理昼食を食べさせたところ、
後でAさんは怒ってしまった

脳の障害：アルツハイマー型認知症

健康状態：問題なし

性格：世話好き 生活歴：農家の大家族の主婦

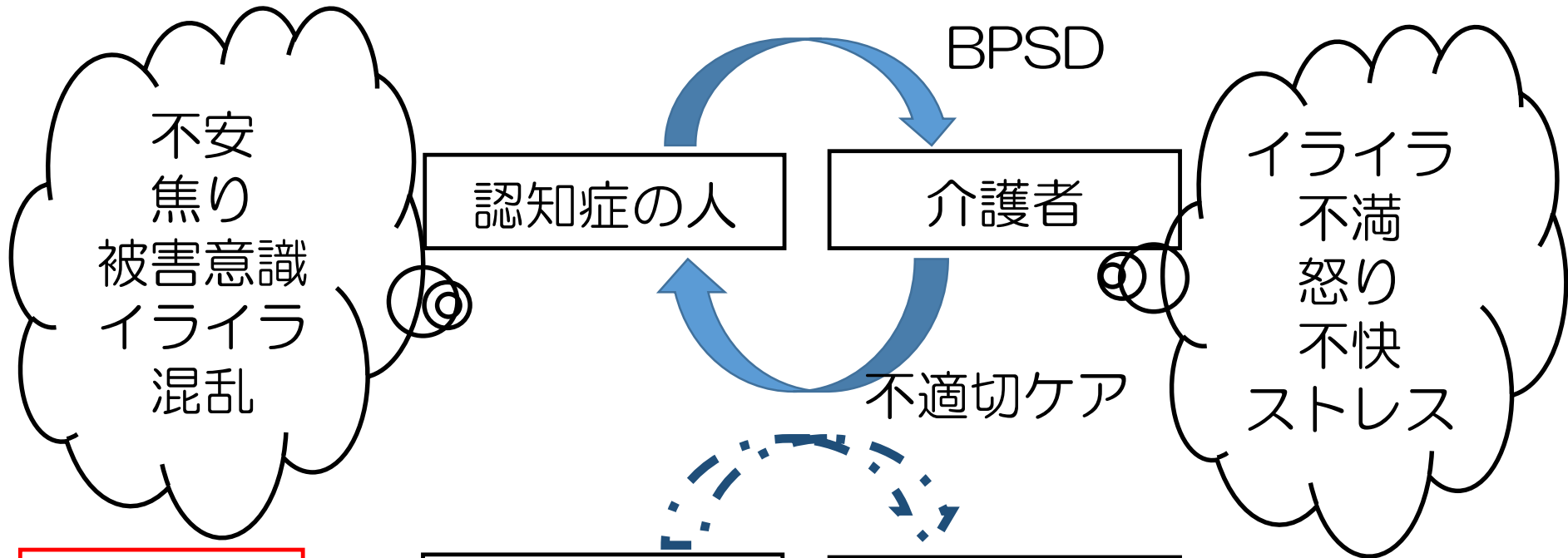
社会心理：女性は食事や洗濯など毎日忙しく働いているのが当然



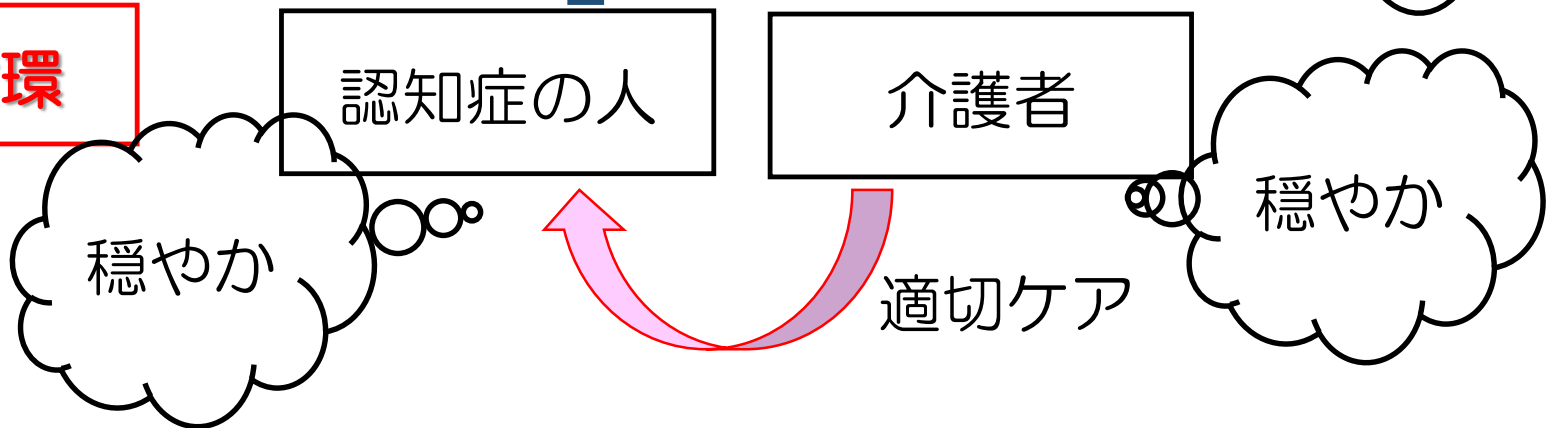
食事の時間におしぼりを配ってもらうことで
少しずつ落ち着くようになった

9. ケアの悪循環と良循環

悪循環



良循環



10. 認知症の人とどう関わる？

誤りを否定しない

援助する時はさりげなく

できないところだけ

失敗を見つけても平然とさりげなく

役割が果たせるよう支える

本人の使い慣れたものをそばに置く

安全で安心できる環境を作る

他の人とのふれあいを促す

慣れ親しんだ生活を尊重する